

こどもクリニックニュース

NO. 224 平成30年9月1日発行
ともながこどもクリニック

休診の予定

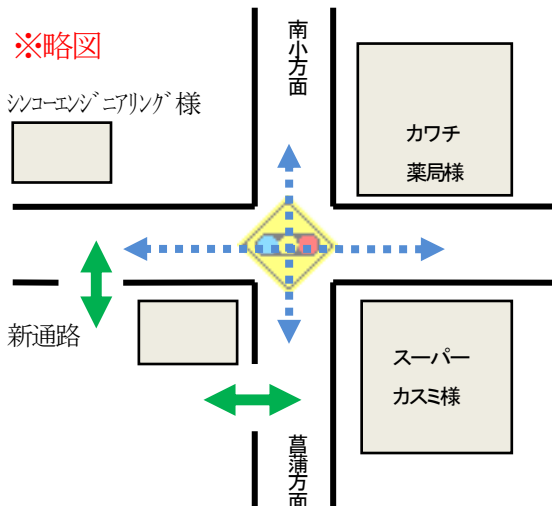
勝手ながら、下記の予定で診療を休ませて頂きます。

9月15日(土)



出入り口を追加

当院北側に県道が一部開通したことに伴い、当院敷地の北西の一角に、県道との連絡道を新設しました。南小方面やビバモール方面から来院される際や、ビバモールや菖蒲方面へ帰る際に、交差点を利用して右左折・直進が可能になり、安全性の向上を期待しています。東側の既存の出入り口も、引き続き使用できます。



注意：北側県道はまだ仮舗装段階のため、センターラインや右折レーン等は引かれていませんし、路上に障害物も設置してあります。シンコーエンジニアリング様の業務用車両も通行しますので、ご利用の際はご注意ください。

インフルエンザワクチン(完全予約制)

予約受付開始日

9月1日(金)～、電話でも予約できます。

接種開始日

10月13日(土)午後～

接種回数(推奨)

13歳未満は(2～)4週間の間隔で2回

13歳以上は1回

接種料金

3,500円/1回(成人・小児共通です)

13歳未満のお子様は2回接種する場合は、合計7,000円になります。

今シーズンも**土曜日午後**に**インフルエンザ専用時間帯**を設定しますので是非ご利用下さい。ネット予約も併用しています。なおこの専用時間帯はインフルエンザ単独接種です。他のワクチン(同時接種を含む)はできません。

通常の診療時間にもワクチン接種できますが、一般の患者さんの診療に大きな支障が出ないように、人数に制限をしています。早めの予約をおすすめします。

火曜日・金曜日の昼の予防接種専用時間は、**インフルエンザ以外のワクチン専用**にしますが、同時接種であれば、インフルエンザワクチンも接種可能です。

インフルエンザワクチンのネット予約について

(10月13日～12月15日まで、土曜日午後のみ予約可)

ご家族で同時に申し込む時に便利です。まず当院HPのインターネット予約受付からインフルエンザを選択して下さい。当院を受診したことのある方1名を代表者として、最高7名分まで一度に予約できます。この時点では他の方の登録は省略することも可能です。2回接種する場合は同様の操作を繰り返してください(接種間隔に注意!)

ただし一つだけ条件(同意事項)があります。1回目接種の3営業日前までに、全員分の「予診票」を取りに来て下さい。その時に全員の情報(登録番号など)を確認いたします。もし3営業日前までに来られなかった場合は、全ての予約を取り消しますのでご注意ください。

ネット予約ができない方は、電話でお申し込み下さい。

院長の予定（平成30年10月まで）

9月	3日	(月)	3才健診	騎西・保健センター
	6日	(木)	休日診療・会議	加須市役所
	10日	(月)	3才健診	加須・保健センター
10月	11日	(木)	就学児健診	水深小
	15日	(月)	1才半+2才健診	騎西・保健センター
	18日	(木)	検診	スピカ・レディースC
	24日	(水)	内科健診	にしき保育所 AM
9ヶ月健診			加須・保健センター	

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

小児科休日診療の当番

平成30年10月までの当番一覧です。

加須市では4月～10月は祝日に、11月～3月は元日を除くすべての日曜・祝日に小児科休日診療を行っています。

9月	17日	(月)	福島小児科医院
	24日	(月)	ともながこどもC
10月	8日	(月)	ともながこどもC

※診療時間は9:00～12:00です。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

感染症の情報

8月は例年同様にヘルパンギーナや手足口病が流行しましたが、昨年に比べれば規模は小さく、8月後半には患者さんの数も少なくなってきました。

その他プール熱や溶連菌感染症、胃腸炎がやや目立ちましたが、やはり8月後半には少なくなってきました。ただし新学期が始まると流行がぶり返す可能性がありますので、注意してください。

埼玉県全体では、RSウイルス感染症の報告が多い状態が続いています。また関東地区を中心に風しんの報告数が増加しています。

風疹の流行とワクチン接種について

7月頃から、関東地区を中心として風疹の報告数が増えてきていることが報道されています。ご存知の方も多いことと思います。

5～6年前に全国規模で風疹の大流行があり、障害を持って生まれた赤ちゃん（先天性風疹症候群）が社会問題となりました。その後は風疹の報告数は少ない状態が続いていたのですが、7月頃から再び増加し、今後の流行拡大が懸念されています。

現在、風疹にかかる方の多くは30代から50代の男性であり、その一番の理由は、過去に風疹ワクチンの公費接種の対象になっていなかったため、風疹に対する免疫が弱い方が多いことです。この世代の方々に、注(1)「過去に明らかに風疹に罹った」又は「風疹に対する免疫があることを検査で確認した」以外の方は、風疹ワクチン（任意）接種を是非ご検討ください。

また妊娠中もしくは妊娠している可能性のある女性は風疹ワクチン接種ができません。妊婦への感染を予防するために、妊婦の夫や同居家族の方で、注(1)に該当しない方は、早急に風疹ワクチンをおすすめします。お子様は、麻しん風しん混合（MR）ワクチンの定期接種（1歳台と就学前の2回）を受ければ十分です。

注(2) 風しんワクチンの代わりに、MRワクチンを接種すれば麻疹（はしか）の免疫も高まるので、料金は高くなりますが、私はMRワクチンをおすすめします。

長期的に麻疹や風疹の流行を完全に抑えるためには、全ての方が合計2回のMRワクチンを接種することが最も確実な手段です。とりわけ将来妊娠を希望している女性で注(1)に該当しない方は、ワクチン接種を強くおすすめします。なお風疹ワクチン接種後2ヶ月間は、妊娠を避けて下さい。

当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



ともなが
こどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150

